

カトリック河原町教会だより

2015年12月



「羊飼いの礼拝」ホントホルスト作(1622年)

神は、独り子を世にお遣わしになりました。

その方によって、
わたしたちが生きるようになるためです。
ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。
わたしたちが神を愛したのではなく、
神がわたしたちを愛して、
わたしたちの罪を償ういけにえとして、
御子をお遣わしになりました。

ここに愛があります。

(ヨハネの手紙I 4・9～10)

2015年 河原町教会クリスマスの予定

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ☆ 待降節黙想会 | 12月 5日(土) 10:00 |
| ☆ クリスマスチャリティーコンサート | 12月13日(日) 15:00 |
| ☆ クリスマス市民の集い | 12月24日(木) 18:30 |
| ☆ 主の降誕夜半ミサ | 12月24日(木) 21:00 |
| ☆ 主の降誕ミサ | 12月25日(金) 7:00 / 10:30 |

Merry Christmas! ～待降節に～

12月が始まったばかりなのに、クリスマスのあいさつは少し不思議に思われるでしょうか。

しかし、デパートや商店街などは、すでにクリスマスツリーやサンタクロースできれいに飾られています。そして、今回はどんなプレゼントをもらえるかなとワクワクしますね。でも、クリスマスには他の大切な意味が含まれています。そのことを忘れてはいけません。

イエス様の誕生日を表す言葉、クリスマス(Christmas)は合成語です。これはキリスト(Christ)という言葉とごミサ(Mass)という言葉に合わせて一つになりました。ですから、クリスマスは「キリストのごミサ」と言えます。そして、最初に私があいさつした「Merry Christmas」というのは「喜びの幸せな キリストのごミサ」という意味であり、「私たちが皆、喜んでイエス様のごミサに参列しましょう」というあいさつです。



洛東ブロック担当 キム・テジョン神父

ですから、キリスト信者でも、まだ洗礼を受けていない人でも、クリスマスを祝うために、ただ人々とプレゼントをあげたりもらったりしながら喜びを分かち合うことにとどまらず、イエス・キリストのごミサに参列して、この出来事を祝い喜びを分かち合いたいものです。

幼子の姿で来られたイエス様は、私たち人間のように生まれて、人間のように生き、人間のように亡くなられた…。しかし、神様の御独り子、三位一体の神様の姿で復活されて天に昇られたので、私たちも死から復活して神様の懐に帰ることができるのです。それを信じイエス様の誕生を祝う聖なる典礼に参加してください。そして、まだ12月25日まで時間がありますので、私たちの心の中もきれいに飾りながら、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望みましょう。

Merry Christmas!

「いつくしみは喜びの源、静けさと平和の泉です」

12月8日から「**いつくしみの特別聖年**」が始まります。教皇フランシスコの大勅書『**イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔**』(カトリック中央協議会)に学びつつ、「**聖年をとおして、生き方を変える機会**」となるよう過ごしていきたいものです。

■聖年の意味

聖年とは、もともと回心への呼びかけの年、また「主が恵みをお与えになる年」(イザヤ 61・2)、神のいつくしみへの招きの年です。旧約聖書の「ヨベルの年」(レビ記 25・1~28)の、土地の安息、負債の免除、奴隷の解放という50年ごとに巡ってくるヘブライ人の考え方が歴史的背景にあります。

■「通常聖年」と「特別聖年」

聖年は、教皇ボニファティウス8世により1300年から50年ごとの開催が始まり、1475年からは、より多くの世代の人が一回でも聖年を体験できるようにと25年ごとに行われるようになりました。2000年(聖ヨハネ・パウロ二世教皇時)には**大聖年**が開催されました。また、**特別聖年**は25年ごとに行われる聖年とは別に、他の意向によって開かれるものです。(近年では1983年の「贖いの聖年」があります)

■ 聖年の扉(ポルタ・サンタ)

聖年開催の12月8日、ローマの聖ペトロ大聖堂の「**聖年の扉**」が教皇によって開門されます。同月13日にはローマ司教座教会ラテランの聖ヨハネ大聖堂・城壁外の聖パウロ大聖堂、

1月1日に聖マリア大聖堂と、計4つの「**聖年の扉**」が開かれます。「その扉はいつくしみの扉となり、そこから入るものはだれであれ慰めとゆるしと希望を与える神の愛を経験するでしょう」(大勅書3)

京都教区では河原町教会と、新しく献堂された福知山教会・鈴鹿教会で「いつくしみの扉」が開かれます。



聖ペトロ大聖堂の「聖年の扉」

■巡礼

「巡礼は聖年の間、特別なしるしです…巡礼は一人ひとりがそれぞれの人生を通して歩む旅路を表す像(アイコン)だからです。人生とは旅です。人間は旅人であり、望みの地までの道のりを歩む巡礼者です。ローマやその他各地の聖なる扉にたどり着くためにも、めいめいが自分の力に応じて旅をしなければなりません。それは、**いつくしみ**はたどり着くべき目的であり、そこに達するためには努力と犠牲が必要だということを示すしるしとなるでしょう。ですから**巡礼**が、わたしたちに回心を促すものとなりますように。聖なる門をくぐりながら、神のいつくしみに抱かれるままに任せましょう。」(大勅書14)

■特別聖年のモットー

いつくしみの特別聖年のモットーは「**御父のように、いつくしみ深く**」で

す。「あなたがたの父があわれみ深いように、あなたがたもあわれみ深いものとなりなさい」(ルカ6・36)のみことばに基づき、教皇は、神がいつくしみ深いかたであるよう、私たちも他者にいつくしみを示すものとなるように、と語られます。

■教皇フランシスコの勧め

特別聖年の有意義な過ごし方として、教皇は次のことを勧めています。

①**巡礼を行うこと、人を裁かず、赦しを与えること**=教皇は、神がわたしたちにいつくしみ深いかたであるように、巡礼の行程として「ゆるしなさい」(ルカ6・37~38)と強調しています。

(大勅書14)

②**社会において疎外された弱い人々に心を開くこと**=「この聖年の間に経験すべきことは、自分とはまったく異なる周縁での生活を送るすべての人に心を開くことです…世界の悲惨さと、これほど多くの尊厳を奪われた兄弟姉妹の傷をよく見るために目を開きましょう…彼らの叫びが、わたしたち自身の叫びとなりますように…」

(大勅書15)

③**いつくしみの業を行うこと**=「わたしの心からの願いは、この大聖年の間にキリスト者が、身体的な慈善のわざと精神的な慈善のわざについてじっくりと考えてくださることです。」

(大勅書16) 〈参考:「いつくしみの特別聖年を迎えるにあたって」大塚司教〉

(編集委員)



ラテランの聖ヨハネ教会

■その他

- ・年末年始のミサについて
12月31日・1月1日の夜ミサはない。
- ・来年度の行事予定
「いつくしみの特別聖年」に伴う行事が追加される。
- ・修繕の必要箇所
ヴィリオンホールの水漏れ、聖堂左側面ダクト付近に雨漏れがある。
- ・教会役員選挙について、抜本的な改革、規約変更の必要性が選挙管理委員会から指摘されている。

■行事予定

四ページの行事予定欄に記載

■協議事項

- (1)新しいミサ典礼書の総則に基づく所作の変更について、周知されていない部分について統一できるよう検討したい。
- (2)市民クリスマス実行委員会から
・聖堂屋根十字架の照明を検討中

催の世界青年大会(ポーランド・クラクフ)への参加者募集
④信徒養成 待降節黙想会12月5日10時~16時 指導Ⅱ一場神父。洛東ブロック四旬節黙想会2月27日(土) 指導Ⅱ鈴木信一神父(聖パウロ会)。聖書通読会第3回目は未定 ⑤キリシタン研究会 高山右近のオペラのチケット販売を、ぶどうの会と協力し11月22日まで行う。

施設管理部 11月15日部会開催予定。11月29日に教会美化デー

広報部「教会だより」最終ページにホーム・ページURLのQRコード表示を検討中

中高生会・秋の遠足の日 ～神戸にて異文化体験～ 2015.10/25(日)

中高生会では、昨年度から今年度にかけて授業で『カトリック教会の諸宗教の手引き/実践 Q&A』（日本カトリック司教協議会 諸宗教部門 編）をテキストに、諸宗教について勉強しました。そこで、今年の遠足は諸宗教への理解を深めることを目的に神戸を訪れました。



当日は、さわやかな秋晴れに恵まれ、2名の中高生と6名のリーダーは阪急河原町駅に7時半集合、キム神父様が見送りに来てくださり神戸に向かいました。

神戸中央教会では、教会の皆さんに温かく迎えていただき主日のミサに与りました。この日は赤ちゃんの洗礼式があり、ミサ中の聖歌はすべて子ども向けの聖歌でした。私たちのこともお知らせの中で紹介してくださいました。

ミサの後、ジャイナ教寺院を見学し、ユダヤ教シナゴークの前を通って、ギリシャ正教の典礼を見学し司祭から説明を聞きました。

次はイスラム教のモスクへ。モスクではパキスタン人の信者さんが説明をしてくださり、12時からの祈りも見学させていただきました。どの宗教の施設でもとても親切にさせていただき、質問には丁寧に答えてくださいました。



モスクの見学の後は南京町へ行き、昼食は中華料理！食後自由行動で、それぞれ南京町の味と異国文化の雰囲気を楽しみました。南京町を楽しんだ後、ピアザ神戸（元町～三宮高架下）を歩いて三宮までもどり帰路につきました。

今回の遠足を企画の際、相談にのり、各宗教施設の資料の郵送、見学の予約を取ってくださった神戸中央教会のYさんと、当日ガイド役をこころよく引き受けてくださったM君（草津教会出身、今は神戸で働いており、神戸中央教会に所属、教会学校のキャンプの手伝いなどを行っています）には大変お世話になりました。

京都ではできない異文化体験、特に京都にはない宗教の施設を見学し、人々が人間を超えた存在に祈り

をささげる姿を見、その雰囲気を体験できたことはとても勉強になり自分の信仰を見つめる有意義な機会となりました。楽しく実り豊かな遠足の日をいただいたことを、神様に感謝!!（教育部/奥埜さと子）

楽しく元気に!ウォーカソン 11/3

土曜学校では、ウォーカソンの少し前に、今年の支援先のひとつであるフィリピン中部台風被災者への支援に関わっておられる、「無原罪の聖母フランシスコ姉妹会」のシスター信田に来ていただき、お話をうかがいました。現在、土曜学校には15～16年前からフィリピン人の子どもたちとお母さん方が来ています。

そのため、フィリピンは土曜学校にとって、とても身近に感じられる国のひとつです。シスターのお話は台風被害のことだけではなく、フィリピンがどんな国であるのかを知るよい機会となりました。スポンサー集めには約100名の方が協力してくださいました。当日は、小学生21名、中学生1名、保護者9名、リーダー8名の計39名が参加し、楽しく元気に歩きました。教会の皆さまのご協力に感謝いたします。

（教育部/奥埜さと子）



河原町教会十一月評議会報告要約

開催日 二〇一五年十一月八日(日)

■司祭団の報告

- ① 役員改選(今年度2名)に協力要請
- ② 「いつくしみの特別聖年」に向けての準備・行事への協力をお願いします。

■報告事項

- (1) ブロック会議
- ① 司祭団より…モンロイ神父から「病者の塗油について、病者はいつでも連絡してほしい。キム神父から「青年の集い」等年代ごとの集まりを企画中である。
- ② 長期目標は1月までに文書化の予定
- ③ 待降節に向けて各小教区の黙想会等の予定が示された。
- (2) 役員研修会で「いつくしみの特別聖年」を迎えるにあたり、大塚司教講話・分かち合いがもたれた。
- (3) 衣笠墓地清掃は出席者17名で無事終了

■部会報告

- 典礼部** ① 10月25日墓苑合同追悼ミサの参加者は50～60名。② 11月1日衣笠教会での司教司式ミサで、河原町教会聖歌隊と侍者2名が奉仕
- 財務部** ① 教会役員推薦を検討② 来年度から維持費納入依頼郵送費を予算に計上
- ③ 補充部員の推薦を評議会に依頼する
- 教育部** ① 土曜学校 11月3日ウォーカソンには河原町教会から計39名が参加。10月12日からクリスマス会の準備。12月12日ミサ・クリスマス会・終業式の予定
- ② 中高生会 12月12日の土曜学校クリスマスに参加予定。12月13日終業式
- ③ 青年 2016年7月23日～8月5日開

◆ 2015年12月・2016年1月の行事予定 ◆
(1月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜	行 事 予 定
	5	土	河原町教会待降節黙想会 10:00~16:00
	6	日	評議会12月例会 10:30 ミサ後 2016年度教会役員選挙投票日 [ぶどうの会ミニバザー-10:30 ミサ後]
	8	火	「無原罪の聖マリア」 「いつくしみの特別聖年」開年
12	13	日	特別聖年開幕司教ミサ10:30 クリスマスチャリティーコンサート15:00~16:30
	24	木	クリスマス市民の集い 18:30 「主の降誕」 夜半ミサ 21:00
	25	金	「主の降誕」 ミサ 7:00・10:30
	27	日	「聖家族」
	1	金	「神の母聖マリア」 元日ミサ 7:00・10:30
	3	日	「主の公現」
	10	日	「主の洗礼」 評議会1月例会 10:30 ミサ後
	18	月	キリスト教一致祈禱週間(25日まで)
1	23	土	村上透磨神父・司祭叙階金祝ミサ 11:00
	24	日	村上透磨神父霊名(トマス・アクィナス 1/28 祝日)のお祝い 10:30 ミサ 河原町教会総会 10:30 ミサ後 (ヴァイオンホール)
	30	土	洛東ブロック会議 14:00 (山科教会)
	31	日	教会美化デー カトリック児童福祉の日

◆七五三の祝福“おめでとございます” 2015年11月15日(日)◆

この主日・10時半のミサで、七五三のお祝いのこどもたちが一場神父から祝福を受けました。一人ひとりにメダリと千歳飴が手わたされ、みんな笑顔いっぱいでした。



聖ファウスティナ・コヴァルスカ(1905年8月25日~1938年10月5日)

「いつくしみの聖年」にあたり、心に留めたい聖人が聖ファウスティナです。ポーランドの貧しい農家に生まれたファウスティナは、両親から敬虔な信仰を受け継ぎ、ミサと祈りの生活の中、19歳のころにキリストの内的な声に気づき「あわれみの聖母会」修道院に入会、修道女として台所や庭の仕事に励みました。

1936年2月22日に白衣のイエスの姿を見、「私の姿を絵に描き『イエスよ、あなたに信頼します』と書くように」と言われ、また「私のいつくしみを受けなさい」という啓示を受けました。1938年10月5日、33歳で結核のため帰天しましたが、2000年4月30日にヨハネ・パウロII世によって列聖されました。2000年「大聖年」の初列聖者です。

◆お薦め：聖ファウスティナから「いつくしみ」を学ぶにふさわしい
手引書『神のいつくしみの礼拝』(聖母の騎士社・¥600)



河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

* 英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00(第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修神父 (1F)

19:00(第1・祝休) 一場 修神父 (1F)

木曜日 15:00(祝休) 一場 修神父 (1・3F)

金曜日 19:15 村上 透磨神父 (1F)

15:00 シスター 庄子 (3F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】

第1水曜日 19:00~20:00 一場 修神父

【山科教会】

毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】

毎火曜日 10:00ミサ後~11:30 一場神父

【桃山教会】

第1・2・4金曜日 19:30~20:30 一場神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父 「祈りを学ぶ」

12月17日(木) 14:00

1月21日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月/第3火曜日 10:30

※福音の分から合いです。どなたでもどうぞ。

